◆小中一貫グランドデザイン◆

グランドデザインとは、小中一貫教育の理念や果たすべき役割を描いた全体構想です。「教育目標」には、CS（コミュニティ・スクール）を基盤とした地域・保護者の願いと、小中学校それぞれの学校目標を設定しています。また「実現のための指標」では、小中の教職員が研修会で協議しデザインした、教育目標実現に向けた具体的な児童・生徒像を示しています。

小中一貫教育の目的
小・中学校９年間の教育課程の構造的理解を通して教職員が指導力（授業力・生徒指導力）を向上させる取組から始まる教師の資質向上のための取組 ～つまり、教師がわかる授業を実現し、子供が授業に向き合い、結果として学力が向上する取組～ **【重点テーマ】一人一人の学びをしっかり支え、誰一人取り残すことのない教育の実現**

小・中学校で身に付けていく大切な力		
S（STUDY）	A（ACTION）	D（DEVELOP）
先人が築いた長沼の伝統と最先端の情報・技術から学ぶ力＝**学び、**	よく考えて判断し、行動できる力＝**行動し、**	多様な人たちとつながり、協働してよりよい社会を切り拓く力＝**成果を分かち合うまちづくり**

	教育目標		
小	長沼の伝統と先端から学び、つながり、拓こうとする子	よく考えて判断し、行動しようとする子	多様な人たちと協働して、よりよい社会を創っていこうとする子
	地域から学ぶ　地域貢献	**学ぶ意欲と思考力・判断力・表現力**	**文化や価値観を受容・共感できる能力 他者との協働　問題解決力、ふるさと創生**
中	長沼の伝統を継承し、先人から学び、地域に尽力できる生徒	高い見識をもち、主体的に学びに向かう生徒	社会を創造して、多様な人たちと相互理解できる生徒

保護者・地域の願い
・長沼で育ってよかった、将来長沼で暮らしたいと思ってほしい ・郷土愛のある人に育ってほしい ・困難に負けない人になってほしい ・様々なことに挑戦していける人になってほしい ・思いやりや責任感がある人になってほしい ・社会性がある人、コミュニケーション能力が高い人になってほしい　など

コミュニティ・スクールの導入（Ｒ２～）
＊学校運営協議会との連携 ＊地域学校協働活動本部の協力
小中一貫教育サポート事業の指定（Ｒ２～Ｒ４）
＊中学校への加配教員配置 ＊道教委・空知教育局からの指導・支援 ＊事業指定校との交流・研修

	目指す児童・生徒像		
小	長沼の伝統や文化を学び、親しみ、大切にする子	いろいろな考えに気づき、意欲を持って主体的に学び続ける子	周りとのつながりを大切にし、進んで一緒に取り組む子
	（仮）長沼を愛し、学び・行動し・協働して未来を切り拓く人		
中	長沼の伝統を継承し、先人から学び、地域に尽力できる生徒	高い見識をもち、主体的に学びに向かう生徒	社会を創造して、多様な人たちと相互理解できる生徒

	実現のための指標 キーワード「確かな学力」「自立と共生」「コミュニケーション」		
低	・「読み」「書き」「計算」をがんばる。 ・体験活動を通して地域のよさを発見する。	・順序立ててはっきり話す。 ・体を清潔にする。 ・元気よく遊ぶ。	・明るくあいさつする。 ・やさしい気持ちで、友達と接する。 ・決められた仕事をきちんとする。
中	・自分の考えをはっきりもつ。 ・友達に積極的に関わり、自分の良さや役割を自覚する。	・筋道を立てて、説明する。 ・健康について考え、行動する。 ・進んで運動する。	・気持ちのよいあいさつや言葉づかいをする。 ・友達と助け合って協力する。
高	・自ら課題を見つけ、解決する努力をする。 ・夢を持ち、その実現に向けて努力する。 ・自分ごととして、地域学習を探求する。	・相手意識を持って説明する。 ・自他の生命を大切にする。 ・目標を持って体力づくりをする。	・心のこもったあいさつや場に応じた言葉づかいをする。 ・広い心で相手の立場をよく考える。
中学	・自己実現に向けて主体的な学習に取り組む。 ・地域の課題を捉え、地域とのつながりの中で学びを広げる。	・将来を見据えて、主体的・対話的に行動する。 ・自己の心身の健康管理を行う。 ・夢を実現できる体力を養う。	・自らあいさつができ、周囲との関わりの中でより良い生活を目指す。 ・他者を認め、公平で思いやりをもって行動する。

小中一貫教育推進会議

合同研修会・特別部会・教科専門部会

方針・計画・運用	授業改善	児童生徒指導	教育課程の編成・実施・改善	異学年交流	特別支援教育	その他
・方針の確認 ・推進計画の立案 ・合同研修会の開催 ・特別部会・教科専門部会の計画 ・公開研究会の開催　など	・学習規律の連携（学習指導・板書・ノート指導など） ・小学校高学年専科授業 ・相互乗り入れ授業 ・授業研究、授業公開 ・ＡＩなど教育コンテンツの活用	・生活規律の連携 ・生徒指導上の課題交流 ・児童生徒理解や学級経営の研修など	・９年間を見据えた教育課程（系統表）の作成 ・小中一貫教科「（仮）ふるさと長沼学」　など	・行事などの連携 ・児童会・生徒会活動の連携 ・いじめ根絶活動の連携　など	・特別な配慮が必要な児童生徒の情報共有 ・指導法等についての研修　など	・小・中学校教員による教育実践上の課題交流や児童生徒の実態交流 ・小中一貫教育に関するアンケートの結果分析 ・中学校体験入学、中学校生活体験 ・地域や保護者への情報発信　など

令和３年度
長沼町小中一貫教育推進会議　No. 1

naganumashoutyuuikkan 長沼小中一貫だより

◆第１回小中一貫合同研修会を開催◆

重点テーマ

「一人一人の学びをしっかりと支え、誰一人取り残すことのない教育の実践」

いよいよ来年度より本格実施されます「長沼町小中一貫教育」にむけて、小中学校教職員が様々な検討事項を話し合い「一人一人の学びを支え、誰一人取り残すことのない教育の実践」を重点テーマに、長沼町児童生徒が生き生きと活動する学校づくりを推進いたします。

４月15日、長沼中学校におきまして、町内小中学校の教職員が一堂に会し「第１回小中一貫合同研修会」を開催いたしました。

全体研修会では、長沼町に先んじて平成30年度より小中一貫教育を導入されている、北広島市の北広島市教育部教育施策推進課長の冨田英禎様にお越しいただき、小中一貫教育の具体的なメリットやご苦労されていること、今後の目標などを、ご講演いただきました。

その後は小中全教職員が「教科専門部会」「特別部会」を行いました。

冨田英禎氏による講演の様子

教科専門部会の協議の様子

「教科専門部会」では「国語」や「算数」などの教科や「特別支援」「事務部」など13の部会に別れ、それぞれ９年間を見通した小中の教育課程の在り方についての協議を行いました。今年度一年間を通して、「教科専門部会」において小中一貫した教育課程の系統表を作成する計画です。

「特別部会」は「学力向上」「生徒指導」など６つの課題別の部会を設定し、これから小中で連携して取り組む教育活動などや、互いの現状などについて情報交換などを行いました。

昨年度よりすでに小中一貫で取り組んでいる活動もあり「家庭学習充実週間」や「中学校の先生による小学校への乗り入れ授業」を実際に行ってきたところです。

課題はまだまだありますが、小中教職員が力を合わせて小中一貫教育の実施に向けて、取り組んで参ります。地域・保護者の皆さまにも、ご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

◆中学校の先生が、小学校で授業をしています◆

中学校の数学の先生による
６年生での乗り入れ授業の様子

小中一貫サポート事業の一貫として、昨年度より継続し、中学校の先生による小学校での乗り入れ授業を行っています。

中学校の数学の先生が、小学６年生の算数の授業を受け持ち、指導しています。子どもたちからも「とてもわかりやすい授業で算数が楽しい」「中学校に上がったときに、また会えるので安心できる」などの声も聞かれます。

写真の授業は、中学校の数学教師山本嘉美先生による、一人一台端末 iPad の学習用アプリ「スクールタクト」を活用しての「対称」の授業風景です。

今後は、小学校の体力テストで、中学校体育科の先生が指導・補助したり、小学校の先生が中学校の授業の補助を行うなどの乗り入れ授業を計画中です。